

釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔



演劇
片桐 茂貴さん(43)

＝釧路市

③

代表を務める劇団東風が2007年度に受賞しているが、演劇部門の個人としては初受賞。これまでの24年間に43公演を上演。俳優としても舞台に立ち続け、声やナレーションの出演も多い。

団体、世代間をつなげる

い。道内唯一の演劇関係組織「釧路演劇協議会」の会長に2年前就任。釧路市文化団体連絡協議会の事務局長も14年目。舞台管理という職業柄も含め、舞台裏を熟知した立場から自らを「触媒」役に任じ、団体、世代間をつなげる釧路

アートのコーディネーターとして活躍する。

11年9月、生涯学習センタ一大ホールで開催された釧新郷土芸術賞40周年記念ステージ(31団体・個人出演)のまさにコーディネーターを務め

11年9月、生涯学習センタ一大ホールで開催された釧新郷土芸術賞40周年記念ステージ(31団体・個人出演)のまさにコーディネーターを務め

绚爛、豪華な舞台を実現。故・花柳寿登芳氏がホールで踊った最後の舞台を演出した。同様に翌年11月、多くの文化団体が集まつた同センター開館20周年記念事業「序・破・急・幣舞の丘から」の総合演出も担当。釧路の芸術文化

を支えている。

「尊敬し合い、くつづけて

新しいものを創造する」を信条に、すでに八面六臂の働きをみせてはいるが、「(受賞は)

を熟知したプロデュース活動は多岐にわたる。

釧路を舞台にした映画ロケ